

平成27年南房総市教育委員会第12回定例会会議録

- 1 日 時 平成27年12月24日(木) 午後3時開会～午後3時55分閉会
- 2 場 所 南房総市丸山分庁舎 2階第2会議室
- 3 出席委員 委員長 小宮 忠 委員 岡崎 俊明
委員 庄司 美佳 委員 石井 美智代
教育長 三幣 貞夫
- 4 出席職員 教育次長 宇治原 洋一 参事 小池 正志
教育総務課長 奥澤 基一 子ども教育課長 水島 孝夫
生涯学習課長 田村 耕一
書記 教育総務課課長補佐 庄司 武史
同 教育総務課副主幹兼総務係長 松本省吾
同 教育総務課副主査 高梨 和子
- 5 開 会 小宮委員長が開会を宣言
- 6 会議録署名人の指名 小宮委員長が岡崎委員を指名
- 7 会議録承認 平成27年11月27日開催の第11回定例会会議録について承認
- 8 議 事
報告事項

① 教育長報告

来年度の予算編成をおこなっているところですが、平成28年度から合併による特例債が減っていきますので、5年間で30～40億円削減しなければならない状況です。ですから、今年度の予算規模が最大、ピークになるであろうと考えています。平成28年度については既に減らしていかなければいけません、子どもたちの主たる教育活動に係る紙や印刷機のインクなどの消耗品は削らないよう確保したいと考えています。また、発達障害への対応として、館山市や鴨川市の3～4倍近い60名程度の特別支援教育支援員を配置していますが、これは学力の向上やクラスが一定程度安定した状況で授業がおこなわれ

ている要因だと思っています。早期からの対応として保育所から特別支援教育支援員を配置していることも大きいという考えを持っています。そのため、これについても削らず確保したいと話しています。逆に削っていく部分として考えているのは、各学校の植木剪定手数料や図書サポート員を有料ボランティアから無償ボランティアとするなどです。この他、小学校1年生への絵本のプレゼントはやめる予定ですが、その代わりに各学校の図書費を昨年度より若干多く要求しています。図書サポート員は年間約600万円程度だったかと思いますが、10年続ければ6000万円になりますので、継続的にかかる経費をどれだけ削っていけるか、28年度に削って29年度に復活するような削り方では意味がありませんので、各課で苦しみながら予算編成いたしました。今後、予算案が議案となる際に、ご意見いただけたらと考えておりますと報告。

② 各課報告

ア 奥澤教育総務課長が、教育再生実行会議、平成27年度市町村教育委員研究協議会、第2回教育長・教育委員研修会について報告・説明。

イ 水島子ども教育課長が、南房総市市内一斉避難訓練・預かり訓練、南小学校・丸小学校合同授業「かたつむりのツン君と和楽器コンサート」、南房総市園長・校長会議、南房総市特別支援専門家チーム会議、要保護児童対策地域協議会実務者会議、南房総市事務職員会議、南房総市小学生書き初め講座「冬休み宿題応援講座：書き初めを書きあげよう」について報告・説明。

ウ 田村生涯学習課長が、重要文化財旧尾形家住宅一般公開、ママさんバレーボール南房総さざ波大会、夕空絶景マラソン南房総大会、ふせひめスポーツ少年団駅伝交流大会、南房駅伝大会、ふれあいウォーキング、南房総市成人式について報告・説明。

(質疑)

岡崎委員 新成人の誓いですが、今回は和田中出身の男子と白浜中出身の女子とのことですが、こちらについては毎年、いろいろな中学校からできるように配慮しながら選んでらっしゃるのですか。

田村生涯学習課長 基本的には、中学校の時の生徒会役員だった方にお話をしています。昨年度はやりたいという方がいましたのでお願いしましたが、今年度はいませんでしたので、和田中出身の方と白浜中出身の方をお願いしました。昨年度はたまたま2人とも三芳中出身の方でしたが、できれば各地区からバランスよくでていただければと思っています。

小宮委員長 南小学校と丸小学校の合同授業ですが、こちらは子ども教育課主催の事業ではなく、各学校の主催でしょうか。

水島子ども教育課長 主催は、NPO法人文芸フォーラムです。

三幣教育長 NPO法人文芸フォーラムの方から、無償でこのような事業をおこないませんが、南房総市内で実施したい学校がありませんかというお話をいただきましたので、校長会議で情報提供したところ、南小学校と丸小学校から希望がありました。世界的な琴の奏者が演奏するので、通常でしたら謝礼等が必要でしょうが、今回はすべてNPO法人がボランティアでおこなうということでした。

小宮委員長 これは、今年度のみおこなう事業ということですか。それとも、来年度以降も引き続きどこかの学校が恩恵を受けることができるのでしょうか。

三幣教育長 希望があれば可能かもしれません。

小池参事 内容は素晴らしく、子どもたちがだんだん前のめりになっていって、引き付けられていくのがわかりました。琴の演奏も、普段聴く機会がありませんので貴重な機会でした。

庄司委員 時間的にはどのくらいでしたか。1時間くらいでしょうか。

小池参事 少し延びて50分くらいでした。ところどころ休憩を入れて50分です。

庄司委員 1年生から6年生まで全員ですか。

小池参事 そうです。

庄司委員 ぜひいろいろな学校で実施していただきたいですね。

小宮委員長 そうですね。ぜひ他の学校でも実施できるといいですね。

議決事項

- ① 議案第69号 南房総市学校外教育サービス利用助成事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について

水島子ども教育課長が、塾利用助成券の交付を受けようとする者とその配偶者が住所を有していなかった場合に、市町村民税の課税額等を明らかにする書類の提出を求める条項を追加すること等について資料に基づき説明。

(質疑)

石井委員 対象者561人、申請件数379人とありますが、当初の予算の何%ぐらいを消化しましたか。

水島子ども教育課長 現在、塾利用助成券は配布してありますが、塾等から利用実績を提出してもらうまでに時間がかかりますので、最終的な執行状況はまだはっきりしません。今年度の事業が終了し、精算しましたらご報告いたします。

三幣教育長 予算は、実態とは少しずれています。第1階層から第6階層までの人数は、

教育委員会内で扱っている事務で把握できる保育所や幼稚園の対象年齢での分布率を5・6年生にあてはめて積算しています。同じ市役所内であっても、小学5・6年生が属する世帯がどの階層にあたるかというのは、教育委員会では把握できません。ですので、例えば全員が申請し、利用したとしても100%にはならないこととなります。

水島子ども教育課長 課税状況は個人情報ですので、本人の承諾なしに調べることはできません。そのため、別のデータをもとに、予測で当初予算を作成しています。

石井委員 対象者数は確実ということですか。

水島子ども教育課長 対象者数はこちらで把握できますので確実です。金額については先ほども申しましたとおり、まだはつきりしません。申請はしたけれど利用しなかったという方もいるかもしれません。

石井委員 そういう方がいるのではないかと思いましたので。

庄司委員 私は、申請しなかった方がどの階層に多かったのかを知りたかったのですが、それはわからないということですね。申請しなかった方に、なぜ申請しなかったのかをうかがうアンケートはおこないませんか。

水島子ども教育課長 おこなう予定はありません。

庄司委員 有効的に利用して学力向上につなげていただきたいので、なぜ申請しなかったのかが気になります。

石井委員 資料を見ますと、利用してみようと考えた方がだんだん増えていきますね、5月、6月と。

水島子ども教育課長 学校の先生にお願いしまして、利用人数が少ないところは、個人面談でお話していただくなどの啓発活動はしています。

三幣教育長 三芳小学校で10月から、月曜から金曜まで週5日間、放課後子どもクラブをはじめました。送り迎えをせずに塾に行くことができますので、数は少ないですけど、利用券を使うようになりました。送り迎えができるような環境を整えればもう少し増えてくるかと思えます。

小宮委員長 当初この発案は、学童保育や塾に行きにくい家庭を支援しようということと考えはじめ、それが広まってすべての子どもにというかたちになってきたのではないかと思います。当初の目的であるなかなか塾に行きにくい子どもや送り迎えができない、地域的に近くに塾がないというような、支援をしなくてはならないところに手が届かなくて、普通に塾に通える子どものほうに支援が向いてしまっているように感じます。これからの財政を考えると、もっと重点をどこかに置かなければいけないのかなという気がしま

す。この分布をみると、第5階層が一番多いので、そのようなことを感じました。

三幣教育長 現在、夏季講座や2学期になると週1回、放課後学習教室をやっている、これらは市で実施していますので無料です。それらがあるので、うちはそれだけで十分ですという意見や、通年の放課後子どもクラブは自己負担があるのでやらなくていいですという意見が、放課後子どもクラブの立ち上げに際し、一部の保護者からありました。このような意見もありますので、親にとって最大の関心事は子どもの教育だという考えが当てはまらない、そのような考えを持たない家庭があることを前提に我々は考えていかなくてはならないのかなど。子どもたちの将来を考えたら、できるだけ学習の機会を多くして、持てる力や可能性を磨いていきたいと思いますということ呼びかけていかないと、まんべんなく参加してもらうということは難しいのかなと感じています。

石井委員 うちにも6年生の子どもがおりますが、学校での放課後学習教室には参加する、そこに参加するから通年の放課後子どもクラブには行きたくないと言います。親としては行ってほしいのですが、なかなか本人の賛同が得られない。こちら折れて、じゃあ、週1回の放課後学習教室でがんばってくださいと。いろいろな事情があるとは思いますが、とても立派な券なので、いただいたけれど使い道がないとなると心苦しいですね。

水島子ども教育課長 塾利用券は金券ですので、偽造されないようにある程度のものにしなければいけないということもありましたから。

岡崎委員 先ほど少しお話がありましたが、保護者にこの制度を伝える、有効にこの制度を利用してもらうという点においては、学校である程度情報を伝えてもらうのが一番良いかなと思います。また、今後、それぞれの塾から、南房総市の5・6年生の塾受講者が増えたとか変わらないとかそういった情報も得られると思いますので、それらも参考にしながら、少しでも利用者が増えるような方法を考えていけるとよいと思います。南房総市の5・6年生ということで申し上げましたが、他市も含め、すべての子どもたちがどのくらい塾を希望しているのかということも関心があるところですので、子どもの動向について塾から情報をキャッチすることも必要かと思います。

石井委員 当初予算の中の何%消化したかという質問をしたのは、この制度について説明があったときに、中学生は対象にならないというお話がありましたが、中学生のほうが利用するのではないかと思い、もし、小学生で使いきれない分があれば中学生のために使うことはできないだろうかと考えたからです。

三幣教育長 この事業の予算は1200万円ぐらいですが、中学2年間分をおこなうとすると同じく1200万円ぐらいになります。中学3年間おこなうと1800万円ぐらい

かと思えます。小中学校あわせて3000万円かかることになり、それだけの予算がかけられるかどうかということです。一度ははじめますと、途中で止めますというのは市長が代わるようなことがなければなかなか難しいと思えます。親御さんの立場からすれば、当然中学生のほうが利用する可能性は高いと考えるのはわかります。また、話をしてみます。

質疑後、全会一致で承認された。

9 その他

・三幣教育長から、三芳子ども園の給食業務について、来年度から学校給食センターと同じように民間に業務委託することを考えているとの報告があった。また、完成した富山小中一貫校の更衣室は、避難所になることを想定し、畳にすることにしたところ、富山地区の石井製畳が新しい畳を36枚寄贈してくださったとの報告があった。

10 閉 会 小宮委員長が閉会を宣言

第1回定例会を1月21日（木）午後3時に開催することで決定した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証する。

平成28年1月21日

南房総市教育委員会 委員長 小 宮 忠

南房総市教育委員会 署名人 岡 崎 俊 明

南房総市教育委員会 書 記 高 梨 和 子